



発行日  
13. 1. 1  
第 370 号  
会員数 170 名  
武蔵台剣友会  
渉外・広報部



新年あけまして  
おめでとございます

## 新年を迎えるにあたって

武蔵台剣友会会長 藤 麻 心 一

### 新年明けましておめでとございます。

昨年は、自立式電波塔としては、世界一となる六三四（むさし）mの高さを誇る、東京スカイツリーの完成、史上最高の三八個のメダルを獲得したロンドンオリンピックで日本選手の活躍、そして年末には京都大学の山中伸弥教授のノーベル賞授賞と明るいニュースも多い年であったと思います。

そんな中、我々武蔵台剣友会も創設三十周年を迎えました。役員の方々中心に大会の準備、記念誌の発行等献身的にご協力頂き、お陰さまで思い出深い企画となり、盛大な大会兼お祝い会として終えることが出来たと思っています。本当にありがとうございます。言うまでもなく、この盛り上がるの背景には、ここ数年の子供会員の入会増加と入会した子供達の日頃の熱心な稽古ぶりという支えがあつてのことと思っています。子供たちの剣道に対する熱心な取り組みと先生がたの誠意のあるご指導に改めて感謝申し上げます。

さて、本年は剣友会も次の十年を見据えた年のスタートです。これまで同様、子供達に日本伝統文化のひとつである「剣道そのものの持つ素晴らしさ」をできる限り伝えて行こう。そして、我々自身も今以上に剣道を学んでいこうということを念頭に活動していきましょう。

明治の文豪、幸田露伴が自著『努力論』で幸福三説を主張しています。「惜福」「分福」「植福」の三つです。「惜福」とは、自らに与えられた福を、取り尽し、使い尽くしてしまわずに、天に預けておく、ということ。「分福」とは、幸福を人に分け与えること。「植福」とは、将来にわたって幸せであり続けるように、今から幸福の種を蒔いておくこと、精進し続けること、だそうです。

これからも子供達と一緒にあって「剣道の素晴らしさ」を学び、「武蔵台剣友会の絆」を更に楽しいものにできるよう、ひとりひとりが、今自分が出来る範囲の活動を持ち寄つてのご協力をこれまで同様是非ともよろしくお願いいたします。

本年が、皆さんにとっていい年となりますよう、また剣友会がますます盛り上がりますよう、心より祈念して新年のあいさつとします。

本年もよろしくお願い申し上げます。



発行日  
13. 1. 1  
第 371 号  
会員数 170 名  
武蔵台剣友会  
渉外・広報部



新年あけまして  
おめでとうございます

## 新年を迎えて

武蔵台剣友会父母会長 日 高 香

新年明けましておめでとつございます。

昨年は、武蔵台剣友会三十周年という節目の年でした。  
三十周年記念大会など、例年とは違う特別な行事もありましたが、皆さんの協力により、無事父母会の活動ができました事、心より御礼申し上げます。  
また、昨年も入会者があり子供達が増え賑やかになりました。  
本年も、子供達が皆元気に稽古を続けられる環境作りを父母会としてできる限りのサポートをしていきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ご挨拶

武蔵台剣友会指導部部长 小 池 俊 久

剣友会、父母会の皆様新年あけましておめでとつございます。

昨年は子供達への指導にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。活動に際しましては会長、顧問の先生、諸先生方、指導部の先生のお力添えをいただきまして元気な一年にすることができました。改めて感謝致します。

子供達もそれぞれ成長され各大会、昇級審査などで活躍することができました。

反面、指導の難しさも感じた一年でしたがご父兄から最近の試合では粘りが出てきましたねというお話をいただいたことが励みとなりました。

今年はお互い切磋琢磨し競争心もできた子供達を更に伸ばし、また新入生もしっかり育てていきます。

相変わらず仲間の先生、父母会様に助けられることが多いと思いますが、子供達が大きく育っていくことを楽しみに指導部として頑張っていきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



発行日  
13. 1. 1  
第 372 号  
会員数 170 名  
武蔵台剣友会  
渉外・広報部



新年あけまして  
おめでとございます

## 巳年の新年を迎えて

武蔵台剣友会理事長 原本 十一郎

新年あけまして、おめでとございます。新たな年の幕開けに相応しい、穏やかな朝を迎えることができたと思います。

武蔵台剣友会も、昨年は創設より三十年の月日を数え、会員の皆様のご協力により、趣向新たな剣友会対抗の記念大会や、各種対戦を盛り込んだOB・OGを交えての紅白戦、そして記念祝賀会などを盛大に開催することができました。また、多くの方々に寄稿いただき、立派な記念誌も作成することができました。改めて、お礼申し上げます。

三十周年の企画・準備中に、次の四十周年、五十周年を今のままの体制で迎えることができるのか、胸中を不安が過ぎりました。「四十周年は、たぶん自分が担当することはないだろうな？」と安易に思う反面、次の世代を担う体制づくりの必要性を痛感いたしました。そのようなことを踏まえて、年頭に当たって新たな施策を掲げてみました。

### 一．剣道体験教室の定期実施

少子化が進む中で、習い事の多様化も合間で、剣道に興味を示す子供たちの数も減少の途を辿っていると思われます。剣道自体、子供たちの目に触れる機会も少ないと思います。少しでも、PR活動などを通して、子供たちに剣道に関心を持ってもらうために、地域を越えての剣道体験教室の開催は、会員拡大の一助になると考えます。

### 二．稽古日程の可動開催の実施

これは、藤麻会長が以前からおっしゃっていたことです。例えば、土曜日の午後で開催したり、ご父兄の買い物時間に合わせて幼児を預かっている幼児教室の開催など。このような稽古時間・日程のフレキシブルな対応によって、裾野の拡大も計れと思います。

### 三．セカンドキャリア世代への勧誘と展開

ビジネスの社会では現役を退かれ、第二の人生を武蔵台の地で歩み始められたシニア世代のための稽古会の実施です。シニア世代の方々は、現役時代よりは時間に融通が利くと思います。そのためには、右記提起のように平日の日中開催も一計かと思えます。併せて、「おじいちゃん《お祖母ちゃん》と一緒に剣道を！」とテーマして孫世代も巻き込むと、更なる隔世世代開拓も可能です。

これらの他にも幾つか施策はありますが、指導方法についても「目線合わせでの指導」や、「児童心理の理解」などを指導者相互で研鑽し、次の世代への橋渡しができればと思います。また、レンタルサーバーの利用により、大会の写真や各種行事などを遠くにいても閲覧でき、併せて、「コミュニケーションのツール」として広場などができれば、世代や師弟を越えての会話も弾むと思います。何れにしても、剣道の裾野を広げるためにも、先生方が築かれた武蔵台剣友会を継続させるためにも、試行錯誤を繰り返しながらでも、会員一丸となって一歩ずつ進めていく必要があると思います。本年も、皆様方のご支援、よろしくお願いいたします。



発行日  
13. 1. 1  
第 373 号  
会員数 170 名  
武蔵台剣友会  
渉外・広報部



新年あけまして  
おめでとうございます

## 祝 称号取得

教士七段 おめでとうございます

小川 忠司 先生

九月：実技試験、十一月：筆記試験を経て、見事教士号を取得されました。

1. 教士は、剣理に熟達し、識見優秀なる者。
  2. 錬士七段受有者で、七段受有後二年を経過し、加盟団体の選考を経て加盟団体会長より推薦された者。
- 審査方法 都道府県剣連会長から推薦のあった候補者について、日本剣道形、試合・審判、指導法、木刀による剣道基本技稽古法、称号・段位、健康・安全および剣道に関する小論文の筆記試験を行い、試験結果を審査会に提出し合否を決定する。

12月2日(日)

1 級 2 級の昇級審査がありました。  
(全員合格)

おめでとうございます。

1 級 日高諒久  
戸田結夏  
白井俊太郎

2 級 岩間凌  
梅澤悠吾  
戸田苑美

1月の予定

1月2日(水)  
入間市剣連新年稽古  
入間市武道館 14:00~  
1月5日(土)  
飯能地区剣道連盟稽古始め  
日高アリーナ 多目的室  
13:30~  
飯能地区剣道連盟 新年会  
村さ来 17:30~  
1月12日(土)  
西部地区合同研修稽古会  
入間市武道館 14:00  
1月20日(日)  
地区講習会  
ときがわ町体育センター  
9:00 受付  
1月は飯能地区合同稽古会  
はありません。

201212.16

2013(H25)/1月 稽古日程、当番表

場所: 武蔵台小学校体育館

1月

6日(日曜日) 稽古始め・餅つき	9:00~12:00	10日(木曜日)	19:00~21:00
	戸田(苑)		青柳
13日(日曜日) 寒稽古	7:30~9:00	17日(木曜日)	19:00~21:00
	戸田(結)		梅澤
20日(日曜日)	稽古なし(ミニバス試合のため体育館使用不可)	24日(木曜日)	19:00~21:00
			田口
27日(日曜日) 寒稽古	7:30~9:00	寒稽古は2月一回目の稽古と合わせて三回予定しております。	
	橋本		

雑巾・お茶用フキンは、次回当番の方が洗濯して下さい。  
(理由: 持ち忘れ・紛失をなくすために)